Profile

2023

協会のご案内

一般財団法人
淡路島くにうみ協会
Awaji Island Kuniumi Association

ごあいさつ

一般財団法人淡路島くにうみ協会
理事長　石村（いしむら）　健（たけし）

淡路島くにうみ協会は、地元の出資により昭和61年に設立された「財団法人淡路21世紀協会」と、平成12年に開催された淡路花博の理念を受け継いだ「財団法人淡路花博記念事業協会」との連合により、平成21年４月１日に誕生しました。

当協会は、これまでの間、すべての島民の創意と行動力を結集して「人と自然の豊かな関係」をきずく“公園島”」を目標に、淡路島の歴史や文化、豊かな自然の恵みなどを最大限に活かし、地域の活性化や発展に向けた様々な事業を島内全域で展開してきました。

令和５年度におきましても、

１　「淡路を担う人づくり」
２　「花と緑豊かな環境づくり」
３　「活気あふれる地域づくり」
４　「あわじ環境未来島構想の推進」

の４つの柱に沿って、淡路地域の更なる活性化と花と緑あふれる地域づくりに向け、事業を進めてまいります。

我が国での新型コロナウイルス感染症の発生から３年。ウィズコロナ社会に柔軟に対応しますとともに、２年後に開催される大阪・関西万博を見据えて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

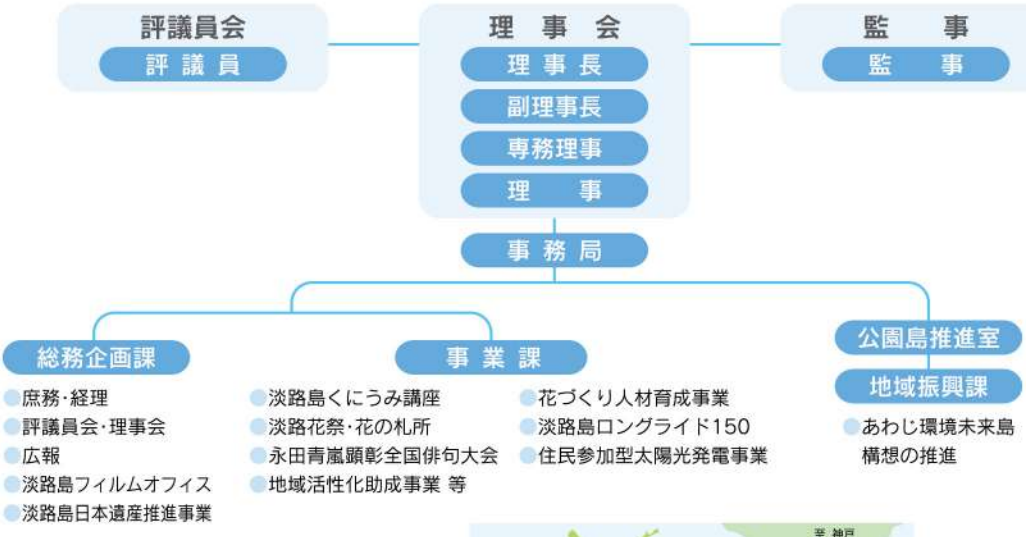
協会概要

法人名称	一般財団法人 淡路島くにうみ協会
所在地	〒656-0022　兵庫県洲本市海岸通１丁目11-1　洲本ポートターミナルビル３階
設立年月日	平成21年４月１日（法人設立：昭和61年6月25日、一般財団法人移行：平成25年4月1日）
代表者	理事長　石村 健
役員	評議員10名　理事９名　監事２名（令和５年４月１日現在）
基本財産	225,100千円（令和５年４月１日現在）

沿革

昭和61年６月25日	大鳴門橋開通、くにうみの祭典を契機に、地元企業・個人等約60者の出資により財団法人淡路21世紀協会設立
平成13年４月１日	明石海峡大橋開通、淡路花博ジャパンフローラ2000を契機に財団法人淡路花博記念事業協会設立
平成21年４月１日	両法人を統合し、財団法人淡路島くにうみ協会設立

組織図



シンボルマーク

淡路の「あ」をモチーフにし、赤（熱い夢と活力）、緑（葉っぱ）、ピンク（花）、紫（波）、青（躍動）の五色で描き、自然（花・緑・広がる海）に囲まれ未来に向かって躍動する人の姿を表し、人と自然の豊かな関係をきずく『公園島淡路づくり』や淡路地域の活性化に寄与する「淡路島くにうみ協会」の理念を表現しています。

淡路島は、兵庫県にある、東西28km、南北55km、周囲約216kmの瀬戸内海最大の島です。東は大阪湾、紀淡海峡を隔て、大阪府、和歌山県に、北は明石海峡大橋で神戸市に、南は大鳴門橋で徳島県に隣接しています。

淡路島は、冬季も温暖で年間を通して降水量の少ない瀬戸内海気候に属しています。

事業概要

Ⅰ　淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座

淡路島の活性化と人づくりを目的として、島内外の多くの人々が淡路島のすばらしい自然、歴史、文化等への理解を深めるための講座を開催します。

≪実施回数≫ 6回程度

さかなクン(東京海洋大学名誉博士)

小林祐梨子氏(元陸上競技選手)

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会

淡路島出身の偉人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚や、交流人口の増加による淡路島の活性化を図るため、第15回となる全国俳句大会を実施します。

≪実施スケジュール≫

・投句募集	令和5年6月～9月
・俳句出前講座	3回程度
・俳句入門講座	3回連続講座
・表彰式	令和6年2月11日
・淡路島吟行ツアー	令和5年11月頃

全国俳句大会表彰式

俳句入門講座

3 花づくり人材育成事業

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会を開催する団体等に花づくりの専門家を派遣し、材料費等の一部を助成します。

・講師の派遣　15回程度(NPO法人あわじ緑花協会に委託)
・派遣対象　自治会、花づくりグループ等

花づくり講習会

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立淡路景観園芸学校で学び「まちづくりガーデナー」、または「まちづくりガーデナー・マスター」として知事認定証の交付を受けた方に対し、受講料の一部を助成します。

Ⅱ　花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催します。

花と緑の講演会
（洲本市文化体育館）

お絵かき花壇づくりコンテスト
（淡路島国営明石海峡公園）

(1) 淡路花祭2023春

・期間　令和5年3月18日～5月28日

≪主要事業≫

・花と緑の講演会
　（淡路島くにうみ講座と併催）
・第10回お絵かき花壇づくりコンテスト
・第11回淡路花祭フォトコンテスト
・淡路花祭PR花壇の展示
・パネルオブジェ「AWAJI」＆
　SDGsプランツボックスの展示
・インスタグラム「淡路花祭2023春」
　フォトコンテスト

パネルオブジェ「AWAJI」等の展示
（洲本市民広場）

インスタグラム「淡路花祭2023春」
フォトコンテスト

(2) 淡路花祭2023秋

・期間　令和5年9月中旬～10月末
・オープニング会場　　南あわじ市

≪主要事業≫

・オープニングイベント
・第12回高校生花とみどりのガーデン
・花と緑の講演会
　（淡路島くにうみ講座と併催）
・第12回淡路花祭フォトコンテスト
・淡路花祭PR花壇の展示
・淡路花祭2023秋キャンペーン「花の札所WEBスタンプラリー」

高校生花とみどりのガーデン
（あわじ花さじき）

淡路花祭PR花壇の展示
（淡路ＳＡ（下り線）施設内）

(3) 2024冬咲きチューリップショー

花の少ない冬季に、新たな花の名所づくりを目的として冬咲きチューリップを展示します。

・期間　令和6年1月～2月
・会場　洲本市民広場 ほか

冬咲きチューリップ展示
（洲本市民広場）

⑷ **淡路花祭2024春**

・期間　令和6年3月中旬～5月末

・オープニング　洲本市

2 花街道づくり事業

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花による街道づくりを実施する団体に対し助成（上限20万円）を行います。

AGNペレニアルガーデングループ
（淡路市）

金屋フラワーガーデン
（洲本市）

3 花の札所推進事業（あわじ花へんろ）

花の島・淡路島の魅力を広く発信するため、淡路島が誇る四季折々の花の景勝地・観光施設等を「花の札所」に指定するとともに、「花の札所」のPRを促進します。

花の札所スタンプ台

≪主要事業≫

⑴ **花の札所拡充事業**

「花の札所」としての魅力向上に取り組む札所を支援するため、整備等について助成（上限20万円）を行います。

⑵ **「花の札所」開花状況等情報提供促進奨励金**

「花の札所」をPRするために発行する「花の札所 花だより」に情報提供を行う施設に対して、奨励金を交付します。

⑶ **連絡会の開催**

花の札所推進事業（あわじ花へんろ）について、意見交換を行う連絡会を開催します。

（構成団体：「花の札所」管理者、淡路県民局、3市ほか）

20番札所　パルシェ香りの館

36番札所　賀集八幡神社

⑷ **広報**

各種広報媒体により広く情報を発信します。

≪主な取組≫

・スタンプブック（冊子、WEB対応）による「花の札所スタンプラリー」の開催

・2024花の札所カレンダーの制作・配布

・「花の札所 花だより」の発行（毎月）

・ホームページ、Facebook、Instagramによる情報発信

四季のスタンプブック

花の札所
スタンプラリーリーフレット

花の札所
2023カレンダー

花の札所　花だより

4 環境美化事業

「環境立島淡路」島民会議に参画し、「環境美化月間」の「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施します。

全島一斉清掃ポスター

全島一斉清掃

Ⅲ　活気あふれる地域づくり

1 地域活性化助成事業

淡路島の地域活性化を図ることを目的に実施されるまちおこし、地域交流、文化・芸術または国生み神話、御食国、日本遺産などの「国生みの島」をテーマとした事業を実施しようとする団体に対し、事業に要する全体経費の一部を助成（上限20万円）します。

2 淡路島ブランド広域推進助成事業

淡路島内の地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し、島内外で広く事業を展開する団体に対して経費の一部を助成（上限50万円）します。

島の出汁パッケージ（Ｒ４年度助成商品）

3 淡路島総合観光戦略推進事業

令和５年３月に策定された「淡路島総合観光戦略」に基づく観光客の誘致等に向けた一般社団法人淡路島観光協会の取組を支援し、淡路地域の交流人口の増加や活性化を図ります。

≪事業内容≫

(1) 淡路島総合観光戦略の推進

専門人材の登用、淡路島観光戦略会議・淡路島観光会議の運営、観光客満足度調査の実施等

(2) 来島者受入環境整備事業

多言語対応等インバウンド推進体制の整備、観光人材育成セミナーの開催等

(3) 大阪・関西万博等連携推進事業

デスティネーションキャンペーン、大阪・関西万博事業との連携等

(4) ヘルスツーリズム推進事業

関連商品の造成、情報発信の充実等

(5) サイクルツーリズムの推進

サイクリスト誘引推進、バーチャルサイクリングを活用したイベントの実施等

(6) 食のブランド「淡路島」の推進【新規】

「御食国ブランド」の広域連携、“御食国あわじ”島グルメの情報発信、人材育成等

(7) AWAJI島博（仮称）の実現に向けた取組の推進【新規】

実行委員会の立ち上げ、島博のシンボルとなる統一ロゴの作成等

(8) 首都圏誘客戦略（徳島空港の活用促進）の展開【新規】

徳島空港の活用促進、徳島空港からレンタカー利用での来島促進等

4 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド150支援事業

「淡路島ロングライド150実行委員会」に参画し、その経費の一部を負担するとともに、県及び島内３市と協力して４箇所のエイドステーション（休憩所）で淡路島の食材を使ったふるまい等を行います。

淡路島ロングライド150

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

「本四道路活用イベント実行委員会」に参画し、地域の魅力発信のためのイベントを実施します。

ア．明石海峡大橋海上ウォーク　　明石海峡大橋の管理用通路歩行（令和5年11月）
イ．大鳴門橋うずしおウォーク　　大鳴門橋の管理用通路歩行（令和5年9月）

(3) 広域連携イベント等支援事業

島内の行政、各種団体等が参画して実施されるスポーツ等のイベント、島外での淡路島のPR、自然環境保全の取組などを支援します。

(4) Awaji Art Circus支援事業

海外アーティストによる淡路島の地域資源も活用した国際アートフェスティバルの開催を支援します。

5 フィルムオフィス事業

淡路島内での映画、テレビ、ＣＭなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配、撮影スタッフの宿泊斡旋等の支援を行っている「淡路島フィルムオフィス」の運営経費を負担するとともに、その事務局を運営します。

映画「嘘八百なにわ夢の陣」
（大浜公園）

カンテレ12K/HDR
ショートフィルム「moments」
（洲本市五色町鳥飼上、鳥飼浦）

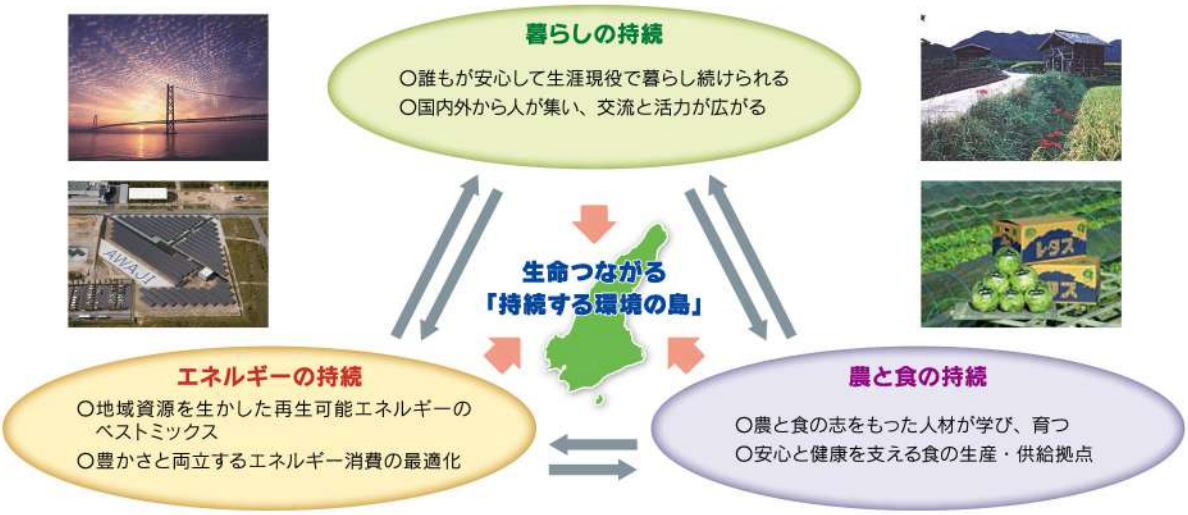
HIROBA初アルバムジャケット撮影
（県立淡路夢舞台公苑野外劇場）

6 淡路島日本遺産推進事業

平成28年４月に認定された淡路島日本遺産の認知度を高め、交流人口の増加による地域活性化に寄与するため県民局、島内３市等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画します。

Ⅳ　あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながら、人口減少・経済縮小等の課題に直面する淡路島で、地域資源を生かして、「生命つながる“持続する環境の島”」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組みます。



【取組の３本柱と地域の将来目標】

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の運営

住民、地域団体、NPO、企業、行政等が幅広く参画する協議会を設置・運営します。

2 あわじ環境未来島構想の情報発信

構想の意義や取組について広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成します。

(1) あわじ環境未来島副読本－みらい－の作成

副読本を小学生高学年等に配布し、総合学習などの授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとします。

(2) あわじ環境未来島情報発信事業

「あわじ環境未来島構想」専用ホームページやSNSでの広報により構想の取組などを広く情報発信します。

(3) ノベルティグッズの作成

SDGsに配慮したノベルティグッズ等を作成し、構想の啓発を行います。

副読本「みらい」

Instagram

3 あわじ環境未来島体験ツーリズムの推進

島内で様々な活性化に取り組む現場を巡り、体験や見学をしながらSDGsや淡路島の未来を考えるきっかけとなるツアーの開催、研修・視察の受け入れを実施し、住民、企業、NPO等の様々な主体が協働して進めている「あわじ環境未来島構想」をより推進します。

(1) あわじ環境未来島体験ツアーの開催

あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されているプロジェクト現場等を体験、見学するツアーを開催します。

(2) あわじ環境未来島構想に関する研修・視察の受け入れ

あわじ環境未来島構想に関心のある企業・学校等の研修・視察について、資料提供やレクチャーを実施し、研修・視察先の情報提供や調整等を行います。

沼島「おのころクルーズ」

4 「EVアイランドあわじ」の推進

「あわじ環境未来島構想」の柱の一つである「エネルギーの持続」の推進のため、エネルギー効率が良く、CO_2削減効果の高い電気自動車(EV)の普及に取組ます。

(1) EV導入補助事業

島内の事業者を対象にEVの導入補助を行い、EVの導入促進を図ります。

あわじ環境未来島構想の
ラッピングを施したEV

⑵ **「道の駅」へのEV用充電インフラ整備補助事業**

EVの導入促進、充電インフラ整備を図るため、淡路島内の「道の駅」におけるEV用急速充電器の整備に対して補助を行います。

5 エネルギーの地産地消の促進（家庭用蓄電池の導入支援）

太陽光発電の自家消費対策として家庭用蓄電池を導入する島民に対して設備費の一部を支援することにより、家庭部門におけるエネルギーの地産地消を促進します。

6 住民参加型太陽光発電事業（住民参加型くにうみ太陽光発電所）

県立淡路島公園隣接地に建設したメガワット級（約１MW）の太陽光発電施設を運用し、売電事業を行います。

住民参加型くにうみ太陽光発電所
（県立淡路島公園）

【淡路島花の応援団】

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、淡路島のイメージアップを図っていくため、島外の著名人で淡路島の魅力を広めることに賛同していただける方に「淡路島花の応援団」を委嘱しています。

（委嘱順・敬称略）

にこいち
（ミュージシャン）

手塚　眞
（ヴィジュアリスト）

吉谷 桂子
（ガーデンデザイナー）

桑原 征平
（元関西テレビアナウンサー）

白井　操
（料理研究家）

里中 満智子
（漫画家）

ジェフ・バーグランド
（京都外国語大学 国際貢献学部教授）

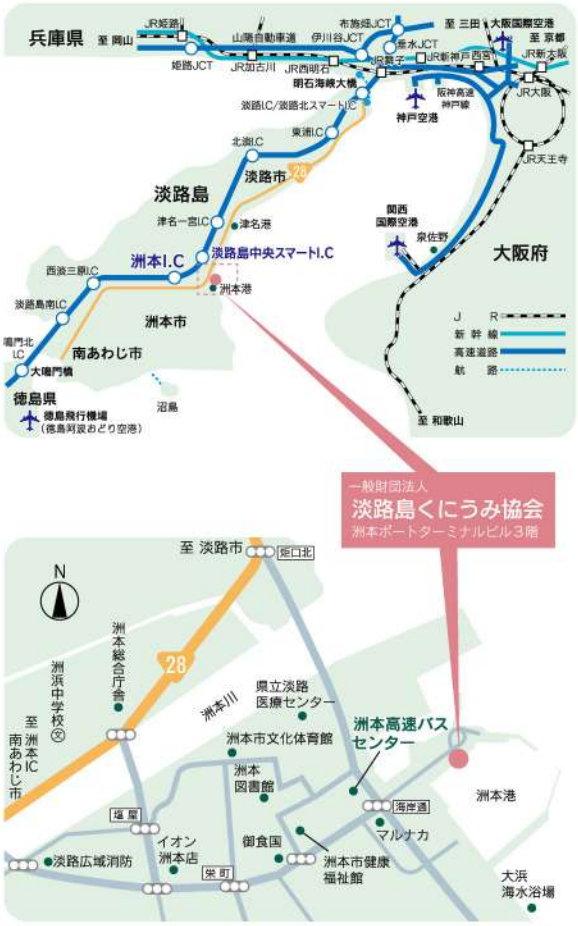
稲畑 廣太郎
（俳人、「ホトトギス」主宰）

蓬莱 大介
（気象予報士・防災士）

安田　裕己
（安田大サーカス・団長、タレント）

小林 祐梨子
（元陸上競技選手）

一般財団法人
淡路島くにうみ協会
Awaji Island Kuniumi Association



〒656-0022
兵庫県洲本市海岸通１丁目11-1
洲本ポートターミナルビル３階
TEL：0799-24-2001
FAX：0799-25-2521
URL https://www.kuniumi.or.jp/
E-mail:awajishima@kuniumi.or.jp

VEGETABLE OIL INK
令和５年５月